

# 長岡フレッシュ 団体PickUp!

魅力的な若手を「つながるラジオ」で紹介中!

第167回 t su \* zuku  
長岡をハンドメイドで盛り上げる

第168回 “食べて知る” あなたの地域野菜実行委員会  
“食”から見える地域の歴史文化

第170回 まちトーク! スペシャル  
「市民によるまちづくり」トークセッション

第171回 長岡音むすびフェス2016実行委員会2016  
音楽と食で「ご縁」を結ぶ

長岡市の市民活動応援番組。FMながおか山田光枝と、NPO法人市民協働ネットワーク長岡のスタッフが、若手市民団体やサークルなどを体験取材に向かいます!

■放送局: 80.7MHz FMながおか  
■放送日: 毎週月曜日17時頃~(10分間) ※第5月曜を除く  
■過去の放送: 市民協働センターウェブサイト「コライト」で配信!

コライト 検索

## Kirari★地域の魅力みつけた!

三島地域

江戸時代の三島に思いを馳せる

三島地域むすび隊 大島 健さん

江戸時代のころ三島地域は、長岡藩・与板藩・上山藩・会津藩・幕府直轄の天領と、4つの藩と幕府に治められていました。天領だったのは今の三島地域の中心部。脇野町に代官所が設置されていました。天領ということで幕府から酒造りの認可が下りやすかった背景もあり、当時は6蔵もの酒蔵がありました。今も所々に歴史や名残は残っています。昔のことを考えながら散歩をすると、より楽しいかもしれませんね。

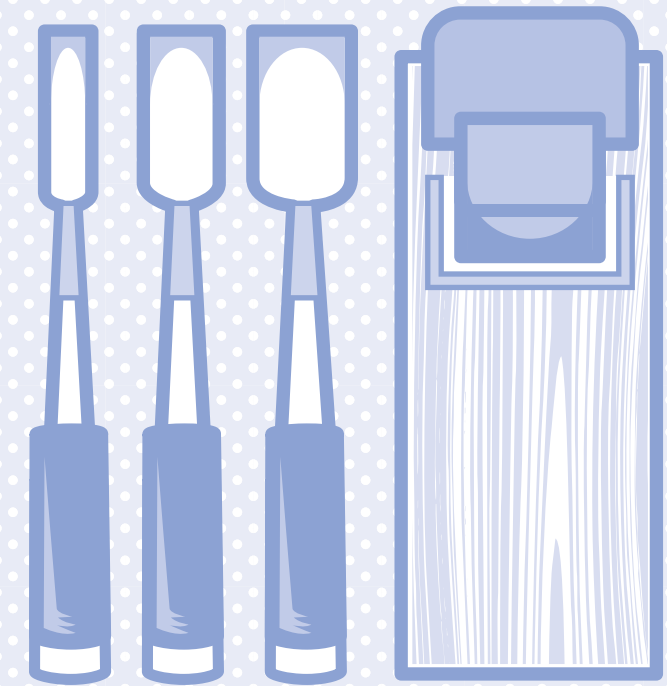
むすび隊とは?...長岡各地の出来事や地域の宝を市民目線で探して、発信していくメンバーたちです。市民協働センターウェブサイト「コライト」にて地域コラムを連載中!

# らこら

2017  
1  
FREE

Racotte  
vol.49

発行●ながおか市民協働センター



## 市民のチカラ 与板地域特集

YOITA



※写真提供: 与板十五夜まつり連絡協議会

### 新設 NPO 法人 紹介

#### 特定非営利活動法人 キッズサポートつむぎ

障がいのあるお子さんが日中を過ごす場が栃尾地域内になく、「ならば私たちでつくりたい」と団体を結成。退職した先生方のサポートを受けながら平成27年より「寺子屋学習教室」を開催しています。平成28年12月にNPO法人となり、現在は10名程度のお子さんが利用しています。活動の幅を広げるため「地域活動支援センター」を平成29年4月に立ち上げる予定です。

### 市民協働センターからのお知らせ info

#### まだ間に合う! 今年度事業の補助金申請

NPO法人も申請できます!

市民活動団体などが実施する公益性のある活動またはイベントにかかる経費の一部を補助する「長岡市市民活動推進事業補助金」。今年度実施する事業への補助金申請は2017年の1月末が締切りです。年度末に向けて企画している方、まだ間に合います! 随時、企画や申請内容のご相談に乗ります。

長岡に元気を招くアイデア募集

平成28年度 長岡市市民活動推進事業補助金

有効に活用して思いをカタチにしましょう!

### 情報メンバー募集中!

ながおか市民協働センターが毎月発行する情報誌「らこら」を始め、長岡の市民活動団体からのお知らせや支援情報などを毎月1回お届けします。ご希望の方は市民協働センターまでお気軽にお問い合わせください。

【らこら配布場所】長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

らこら 2017.1.1 (vol.49) FREE

【発行】ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10  
シティホールプラザ アオーレ長岡 西棟3F  
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900  
Mail. kyodo-c@ao-re.jp URL. http://nkyod.org



【登場団体】中川清兵衛敬慕会/チームわたしのよいた/特定非営利活動法人考房あったか/キャンドル・ラボ/正徳館高校xサポーターズ・クラブ/与板町歴史ボランティアガイド会/よいたコミュニティ協議会/与板地域むすび隊/三島地域むすび隊/特定非営利活動法人キッズサポートつむぎ/他



# 与板

## YOITA

日本一の大河、信濃川の恵みに育まれてきた城下町・与板は幾多の歴史文化を歩んできました。戦国の世、直江兼続公が居城としていた「与板城」、江戸時代には与板藩主牧野氏・井伊氏が治め、現在の「街並み」がつけられました。越後屈指の豪商・三輪家によりつくられた庭園「楽山苑」など、まちの随所に歴史の蓄積が見受けられます。そんな歴史薫る与板は、地域の歴史資源を活かした市民活動団体の動きがとて活発。地域の誇りは自ら磨く、与板にはそんな文化が根付いています。

面積：20.05km<sup>2</sup>  
人口：6,589人  
世帯数：2,239世帯  
(平成28年12月1日現在)

地域づくり



偉人の活躍を、地域の活力につなげて

● 中川清兵衛敬慕会 ●

与板出身でドイツで修業した日本人初のビール醸造人・中川清兵衛。その偉業を多くの人に知ってもらい、与板地域の活性化につなげようと活動しています。平成28年は、「与板★中川清兵衛記念BBQビール園」のオープンに際して偉業を伝えるコースターを配布したほか、同年10月1日にはエビスビール記念館の端田館長による講演会を開催しました。昨年は約6,000人の方が訪れたビール園ですが、そこから与板の街なかにも足を向けてもらえるように工夫していきます。(※ビール園は冬季期間、休園しています)

歴史文化



歴史理解から地域愛へ

● チームわたしのよいた ●

「与板を知ろう、長岡を知ろう」をテーマに、歴史文化を身近に感じ、故郷への愛着や誇りを持つと共に、市内外へ情報発信し、与板を訪ねる人を増やそうと平成28年5月に団体を結成しました。同年11月に講演会「戦国時代の井伊氏と牧野氏」を実施。翌年1月には講演会「根柢藩井伊家から見た与板藩井伊家」を行います。長岡藩開府400年に向け、地域内に限らず、与板に縁ある地域との交流をしながら、活動を拡げていきます。

### キャンドルがつなぐ、若手の「わ」

● キャンドル・ラボ ●

今年度で4回目を迎えたキャンドルナイト@与板は、「地産地消のあかりあそび」がコンセプト。「イベントをきっかけに地元のものを使って遊ぼう」と平成26年から与板打刃物のカンナやノミを使ってオブジェ作りをはじめました。当日までに何度もメンバーが集まり、みんなで少しずつ準備を進めるのが一番の楽しみ。与板の団体と連携したり、地域外からも若者が準備を手伝いに集まるようになりました。



地域づくり

歴史文化



「よいた検定」で与板をますます好きになる!

● 与板町歴史ボランティアガイド会・よいたコミュニティ協議会 ●

歴史を中心に与板のことをもっと知ってもらおうと平成26年にスタートした「よいた検定」。3回目を迎えた今年度は、小学生、高校生、シニアに対して検定を実施します。「ただ問題を解くだけでなく、実際に足を運んでほしい」と、学生には検定前に現地調査と、座学を受けてもらっています。これまでに作った問題はなんと250問! 今後は地元グルメの問題を加えるなど、さらに内容を充実させていきます。

地域の声

与板の祭りは花火ではなく都野神社に奉納される「屋台」。250年以上の伝統を誇る「万燈・登り屋台」は県内最古のもの。「十五夜の屋台引きに背負われる子どもは丈夫に育つ」といわれ、私も父親に背負われて初参加しました。子どもの頃から皆が親しみ、大人になっても祭りのため帰省してくる人がたくさんいます。大切な伝統行事をこれからも守っていきたいです。



平成28年 上町東組年行司委員長 中山直樹さん

高校生×地域



地域を学びの場に!

● 正徳館高校×サポーターズ・クラブ ●

小規模であることを活かし、地域と連携し、「人づくり」を目指している正徳館高校。地域を学びのフィールドにする「与板学」もその一つです。また、正徳館高校の卒業生を中心に「正徳館高校サポーターズ・クラブ」が立ち上げられ、地域と正徳館高校の架け橋を担ってくれています。平成28年11月5日に開催された「正徳館フェスティバル」ではサポーターズ・クラブが与板地域の食品販売をコーディネートしてくれ、正徳館高校の生徒が販売を手伝いました。地域と高校の双方にとって良好な関係が築かれています。



親子で楽しむ 与板の街

与板には親子で楽しめるスポットがたくさん! 支所近くの遊歩道・天人通りは、小さい子どもでも、安心してお散歩が楽しめます。周辺にはお寺や神社、楽山苑などがあり、季節ごとの景色の移ろいも目を楽しませてくれます。アーケード通りの商店街は、多少の雨や雪でもへっちゃら。お茶屋さんやコーヒーショップ、お菓子屋さんなどに立ち寄りながらのお散歩もいいですね。ぜひ親子で与板の街を散歩してみてください!



与板地域むすび隊 田中 洋介さん

シニア



元気なシニアは地域の活力!

● 特定非営利活動法人 考房あつたか ●

活力ある地域社会を目指して、地域で暮らすシルバー世代の豊かな経験を活用したまちづくりイベントや里山整備等の活動をしています。これまで竹細工やキャンドルづくり、地域の宝・人材発掘事業「与板にこの人あり」の展示会などを行いました。活動を続ける中で地域外からも依頼が来たりと、頼りにされることも増えました。私たちの活動に刺激されて、「自分もできる! やってみたい!」と思う人が増えると嬉しいです。